

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社 サンヨーフーズ		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒714-0006 岡山県笠岡市みの越13番	
本票作成	部署名：施設管理部 設備管理				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	弁当・おにぎり・寿司の製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	笠岡工場		笠岡市みの越13番	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成26年度 (5 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 7.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (21 年度)			目標年度 (平成26年度)					
	2,936 t CO ₂			2,730 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (21 年度) の排出量					
	①	笠岡工場		2,936 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産食数		基準年度	目標年度
			79 t CO ₂ / (百万食)	74 t CO ₂ / (百万食)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

- ①算定根拠：LPGを使用する旧式（非効率）の大型設備を次世代型の（高効率）設備に更新予定
LPGのCO₂排出量の21%＝205 t CO₂削減見通しで在る。
以上から、CO₂総量排出＝7%低下する見通しで在る。
- ②原単位を用いた理由：CO₂排出量を左右するエネルギー使用量に密接な関係を持つ値の為です。

【目標削減率達成のための推進体制】

省エネ推進組織が兼任する
 社長―統括責任者―企画推進者―エネルギー管理員―各部署責任者

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
笠岡工場	①平成21年度 盛付室・仕分け室の天井材を石膏ボードから軽量断熱パネルへ変更 ②平成21年度 ①の材料変更に伴う天井貼り替えの際に天井高300mm下げた事による室内空間の縮小により空調負荷の低減 ③平成21年度 盛付室・仕分け室の照明器具をI V方式へ変更 ④平成21年度 盛付室・仕分け室の空調機を空冷ヒートポンプに変更

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
笠岡工場	①工場内空調機のGHP式をEHP式に変更 ②炊飯炉を旧式から次世代の高効率式に変更 ③温水ボイラーの高効率への変更 ④ガス式フライヤーから電気フライヤーへ変更 ⑤蒸気ヘッダーのドレーン回収を行い給水の加温 ⑥屋根への遮熱塗装

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

21年度の温室効果ガス削減に対する対策費用は、6千万円超の大規模対策で1つの大きな柱です

次の柱は、弊社工場の基幹設備（炊飯プラント）更新事案です
 旧式炊飯プラントを次世代式の高効率炊飯プラントに更新する
 熱効率＝旧式30% → 次世代式80%

C02排出量推移

19年度	20年度	21年度（県条例での基準年度）	26年度
6070	5920	2936	2730